

# JEC 規格準拠の海外製ステーションポスト がいしを適用した断路器の納入開始

## 1 概要

東光高岳は断路器メーカーとして数多くの製品をお客さまに納入してきている。その断路器に用いるがいしは、主に国内がいしメーカーから調達していたが、大手がいしメーカーの生産縮小や価格高騰という環境変化が進んでいる。

そのような状況においても安定して断路器をお客さまへお届けするために、日本で初めてとなる JEC-5208:2022 に準拠した海外製ステーションポストがいし（以下、海外製 SP がいし）を適用した気中断路器（以下、断路器）の製品化・販売に取り組んでいる<sup>(1)</sup>。この取り組みは、2021 年から海外がいしメーカー PORCELANAS INDUSTRIALES S.A. (POINSA) と共同で始めた。

海外製 SP がいしを適用した断路器にて JEC-2310:2014 に準拠した形式試験を順次実施し、一部の断路器において製品化が完了しており、2025 年 7 月に納入を開始した。初号機は東京電力パワーグリッド株式会社上高尾開閉所（群馬県富岡市）へ納品した（図 1）。

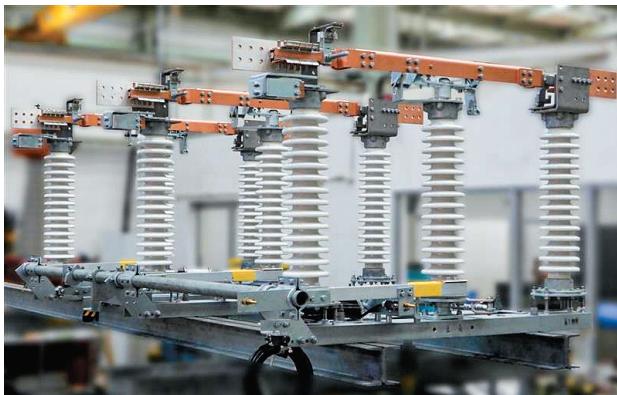


図 1 海外製 SP がいしを適用した断路器  
(THR5 形 72 kV 3,000 A)

## 2 特長

海外製 SP がいしは、JEC-5208:2022 に準拠しており、全高および取合い寸法ならびに電気特性および機

械特性は従来の国内メーカー製作のがいしと同等である。断路器としても、耐震性能および耐電圧性能において従来器と同等であることを形式試験や参考試験にて確認しているとともに、既設断路器の取り替えも容易としている。

## 3 今後の展開

今後の開発については、お客さまニーズを踏まえ海外製 SP がいしの種類を増やしていくとともに、海外製 SP がいしを適用した定格電圧 120 kV から 550 kV までのがいし段積み構造断路器の形式試験を実施し、適用拡大に取り組んでいく。

現在の製品化状況を表 1 に示す。

表 1 製品化状況

定格電圧 (kV)	主な断路器形式	製品化状況
72	THR5, THR6 <sup>*</sup> THB7, THB8 <sup>*</sup>	製品化完了
84		
120	THR5, THR6 <sup>*</sup> THB7, THB8 <sup>*</sup>	2026 年度までに 製品化完了予定
168		
204		
240		
300	THB7, THB8 <sup>*</sup>	
550	THB2, THB3 <sup>*</sup> THB5	2030 年度までに 製品化完了予定

※THR6, THB8 および THB3 は、THR5, THB7 および THB2 の省メンテナンス形断路器

### ■参考文献

- (1) 大山友幸, 松本崇志, 清水俊博, 梶田聰, 永田清志：  
「JEC 規格に準拠した海外メーカー製ステーションポスト  
がいしの開発とそれを適用した断路器」、東光高岳技報,  
No.11 (2024)

電力プラント事業本部